

第2次奄美市地域情報化計画について

(1)第2次奄美市情報化計画(以下「第2次計画」)の計画期間と進捗状況調査

令和3年度から令和7年度を計画期間とする第2次計画においては、主に庁内におけるデジタル関連システムの利用について目標を定め、計画期間の5年間のうち、2年目(令和2年)と4年目(令和6年)の12月に進捗状況調査を行い、目標管理について整理しています。(目標管理の概要は別紙)

各部署における取組については、少しずつ目標を達成してきていますが、スマートフォンの所有率の増加や社会背景、AI関連をはじめとした技術の進歩に伴い、新たなDX推進のあり方や課題も見えてきていますので、今回の計画策定において、より市民にも伝わるよう目標を整理します。

(2)第2次計画を踏まえた計画策定方針

第2次計画で実施した各種調査において、下記のような課題が掲げられています。令和7年度に策定する次期計画におきましても、この課題を踏まえながら、より多くの市民が課題や目標を共有し、行政や事業者だけではなく、市民一人ひとりの幸せにつながるような計画とします。

【第2次計画で整理された課題】

1. 地域住民や市内事業者においては、様々な層の地域住民が情報リテラシーを向上させ、情報弱者が社会的弱者とならないための仕組み・支援が必要である。
2. 庁内においては、事務処理システムや各種データの統一化をはじめとした既存システムの改善が必要である。
3. 庁内情報化に精通した人材の不足や職員一人ひとりの底上げが必要ということが判明し、そのための各種研修等を通じた人材育成の場・機会に対する需要が高いことが分かった。
4. 地域住民・事業者・行政の連携力強化によって、情報化から取り残される人のいない、強い地域力を持った新たなまちづくりが期待される。